

ネイティブヒトカテプシンL

Cat. No. NATE-0177

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 カテプシンL (EC 3.4.22.15、Aldrichina grahami システインプロテアーゼ) は、タンパク質分解の開始に関する重要なリソソーム内エンドペプチダーゼ酵素です。これはペプチダーゼC1ファミリーの一員であり、通常のリソソーム媒介のタンパク質ターンオーバー、抗原および前体の処理、アポトーシスなど、さまざまなプロセスにおいて重要な役割を果たします。カテプシンLは、魚類、鳥類、哺乳類を含む多くの生物で報告されています。

用途 リソソームプロテイナーゼの中で最も強力です。さまざまな生理的タンパク質基質の分解において、カテプシンBおよびHよりも高い特異的活性を持っています。

別名 カテプシンL; CTSL; EC 3.4.22.15; アルドリチナ・グラハミシステインプロテアーゼ; 60616-82-2

製品情報

種	人間
由来	人間の肝臓
形態	20 mM マロネート、pH 5.5、1 mM EDTA、および 400 mM NaCl の溶液。
EC番号	EC 3.4.22.15
CAS登録番号	60616-82-2
活性	> 0.5 ユニット/mg タンパク質
代謝経路	適免疫系、特定の生物に特有のバイオシステム; 抗原処理と提示、保存されたバイオシステム; エンドソーム/パキョオール経路、特定の生物に特有のバイオシステム
機能	コラーゲン結合; システイン型ペプチダーゼ活性; ヒストン結合
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 5.5の条件下で1分あたり1.0μモルのZ-Phe-Arg-AFCを加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C